

ベネッセ 小論文通信

Vol.4

ベネッセコーポレーション
小論文教材編集部

平素よりたいへんお世話になり、ありがとうございます。

この通信では、小論文指導をご担当されている先生を主な対象に、小論文学習にお役立ていただける情報をご提供するとともに、先生方と一緒に指導の方法を考えて参ります。

今回の通信では「小論文個別指導Q&A」と「推薦・A O（小論文・面接）対策」について特集しております。日ごろのご指導の参考にしていただければ幸いです。

小論文個別指導Q&A

個別指導に関するお悩みについて、先生方から伺った話をヒントにまとめました。



Q 評価に時間がかかってしまいます。
何かよい方法はないでしょうか？

A 評価の観点を明確にし、
生徒同士で相互評価させるのもおすすめです。

■相互評価の方法

ペアやグループ（3～4人程度）で答案を交換し、観点に沿って評価をさせる。

なお、評価するのが難しい場合は、「～という点がわかりやすかった」「～の部分は、具体例が足りず、わかりにくかった」など、短いコメントを書かせるだけでもよい。

メリット

他人の答案を評価することで、自分が小論文を書くときに踏まなければならない観点を理解させられる。

デメリット

厳しい評価がしづらかったり、なかなか率直な感想が書きづらかったりするため、評価としての妥当性は弱くなる。

Q 添削にあまり時間が割けません。
添削には、何分くらい時間をかけるべきですか？

A 1人あたり15～20分がめやすです。

●細かな表記の修正よりも、核となる「意見」を中心に確認。深く掘り下げる必要があるところは一旦「？」を書いておくなどしたうえで、対話による指導を取り入れると効果的。

（解答への添削例）看護師は患者の心のケアをすべきだ。？

↳（対話で）『どのように心のケアを行うのかを具体的に示してほしい。』など掘り下げるよう促す。

●表記面の誤りはチェックを入れるのみ。生徒に自ら間違いを修正させるようにする。

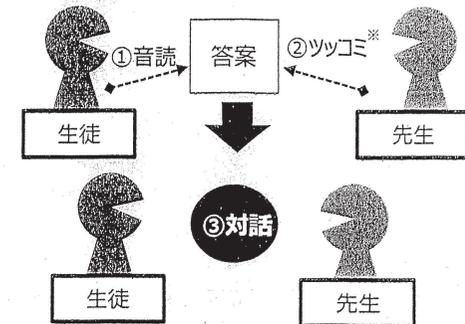
Point

Q 添削以外に、おすすめの指導法はありますか？

A 生徒との「対話」による指導が効果的です。

- ①生徒に答案を音読させる。
- ②先生は、疑問に思うところに「ツツコミ」を入れる。
- ③生徒の意図を聞き出しながら、解答の方向性を示す。
▲ここまでで15～20分がめやす
- ④書き直しをさせる。

※先生から生徒の答案へのツツコミの一例
「具体的に言うかどうか？」
「設問で問われていることに一言で答えるか？」
「意見と理由のつながりが弱いのでは？」 など



Point

- 生徒に音読させ、文章のつながりなどを意識させながら、自ら間違いに気づかせる。
- 生徒が本来書きたかったことは、どのように表現すれば読み手に伝わるのかを、対話の中で示す。

■実際に取り組まれている先生のお声

「一方的な添削で型を押しつけるのではなく、生徒の言葉で表現させることを意識して指導しています。」

▼小論文ご担当の先生に聞きました！ 個別指導でのポイントとは？

- 意識している観点・・・①設問内容の理解が十分か②主張とその根拠が明確か③文章の構成は適切か
- 本人の文章力に合わせ、最初から文章の形で提出させず、筋書きの段階でまずチェックを行っている。
- 課題文の読解がきちんとできているかがまず前提であり、そのうえで自分の意見を明確に提示できるかが問われる。まずは読解力の向上に力を注ぐべきではと思う。

ベネッセの小論文教材には指導用DVDがついています。



指導用DVDでは、添削の入れ方や対話例など、個別指導の具体的な手順や方法をご紹介します。また、論述テスト実施前にご活用いただけるよう、小論文の書き方などをわかりやすく説明しています。

指導用DVDのサンプル映像『添削指導のポイント』はWebでご覧いただけます。

ベネッセハイスクールオンライン

<http://www.bhso.ne.jp/>

T O P » 小論文・表現学習教材 T O P

※ご利用には、ID、ログインコードが必要です。